

額装
表装
画材

絵具屋三吉
〒231-0032
横浜市中区不老町 1-4-12
TEL 045-641-9318
営業時間 11:00～18:00
定休日 日曜・月曜

公募展・グループ展・個展への搬入・搬出から地方への梱包発送、会場設営まで美術展覧会のことは全てお任せください。

ARTON

(有)アートン
TEL 0466-48-8488
〒252-0821 神奈川県藤沢市用田 211-4
FAX: 0466-48-8488
E-mail: arton.event@gmail.com
URL: https://www.arton.events

✚ 海外展への出品もお手伝いいたします。詳しくは web で。
1987年よりパリで開催のソシエテナショナルボザールへの輸出入代行を毎年おこなっています。パリでの個展をお考えの方、会場探しや輸出などについてはお問い合わせください。

横浜市民ギャラリー-展覧会スケジュール 2020年7月～9月

7月

第35回記念 21世紀国際書展 [全展示室]
7/15～7/19 10:00～18:00 ※最終日～16:00
県内を活動拠点とする書家の会派・流派を超えた書道の公募展
主催：産経新聞社 横浜総局

8月

彩の会 [3階]
8/4～8/10 10:00～17:30 ※初日13:00～、※最終日～16:00
国内外の風景画を水彩、油彩、日本画にて、約100点
主催：彩の会

神奈川朝鮮中高級学校 美術部 展示会 [地下1階]
8/5～8/8 10:30～18:00 ※最終日～15:00
「J」の自由、自分たちの主張を込めた、油彩、造形30点
主催：神奈川朝鮮中高級学校

第69回 浜書展 [全展示室]
8/12～8/16 10:00～18:00 ※最終日～16:00
第69回を迎える書道の公募展 一般部・学生部約400点
主催：横浜書道連盟

太平洋神奈川同人展 [1階/2階]
8/25～8/31 10:00～18:00 ※初日14:00～、最終日～16:00
太平洋美術会 神奈川支部主催による公募展。巡回作品もあります
主催：太平洋美術会 神奈川支部

若手支援 [地下1階]
「We can't go home again」
泉 桐子 個展
8/28～9/6 10:00～18:00
日本画材を用いて絵画を制作する作家による個展。大作を中心に
主催：泉 桐子

第70回旧三商大写真展 [3階]
8/26～8/31 10:00～18:00 ※最終日～15:00
一橋・津田塾、大阪市立、神戸大学からなる旧三商大による写真展
主催：一橋大学・津田塾大学写真部

ご注意ください！
この展覧会情報は、2020年2月末に主催者からいただいた情報を基に作成しております。ご利用をキャンセルされた催事は掲載しておりません。
また今後、主催者の都合や、新型コロナウイルス感染防止のため、展覧会の中止、延期、開催日時や開催時間の変更等がある場合がございますので、必ず来館前に、当館のホームページもしくは電話にて、最新情報をご確認ください。

横浜市民ギャラリー
Tel.045-315-2828
https://ycag.yafjp.org/

シモダ
トッド・シモダ
L.J.C. シモダ
初めての日本語版

合同会社 Satori Corporation
http://satoricorpo.com/
「読んだら終わりにゃない」

9月

第8回水彩連盟神奈川支部展 [3階]
9/1～9/7 10:00～17:30 ※初日13:00～、最終日～16:00
20・100号の水彩画を55～60点展示。アクリル絵具も有り
主催：水彩連盟 神奈川支部

第一美術協会湘南支部 第43回支部展 [2階]
9/22～9/28 10:00～17:00 ※初日15:00～、最終日～16:00
油彩、水彩、墨彩、工芸、4号から150号まで 約100点
主催：第一美術協会 湘南支部

中美術神奈川 小作品展2020 [2階B]
9/1～9/7 10:00～17:30 ※初日14:00～、最終日～16:00
油彩画を中心に水彩、日本画等10号以下の小作品を展示します
主催：中央美術協会 神奈川支部

第1回カリアートード展 [1階]
9/1～9/7 10:00～18:00 ※初日14:00～、最終日～15:00
球体関節作品、フィギュア作品、彫刻立体作品による国際公募展
主催：一般社団法人カリアートード

第58回 全国公募日書家展 [全展示室]
9/9～9/14 10:00～17:00 ※最終日～15:00
書道作品「一般こども」、480点
主催：日本書道家連盟

第60回 アーネスト美術展 [3階]
9/15～9/20 10:00～18:00 ※初日13:00～、最終日～16:30
油彩、日本画、立体等 約60点を展示
主催：アーネストクラブ

美術団体 等連会 神奈川支部展 [2階A]
9/15～9/20 10:00～18:00 ※初日12:00～、最終日～17:00
等連会神奈川支部メンバーによる油彩等約35点を展示します
主催：美術団体等連会神奈川支部

小林アトリエS展 [2階B]
9/16～9/20 10:00～17:00 ※最終日～16:00
教室で描いた水彩・パステル・鉛筆・油彩を展示いたします
主催：小林アトリエS

第17回 風景スケッチ会 [3階]
9/22～9/28 10:00～17:30 ※初日13:00～、最終日～16:00
「鎌倉・横浜」等を主とした水彩画約60点を展示
主催：横浜・鎌倉スケッチ会

貸館担当から

横浜市民ギャラリーで展覧会を開催しませんか
空室は抽選なしで利用可能
10名以上で出品されるご利用団体は、利用希望月の1年前の抽選会に参加して展示室を予約することができます。抽選後の空室は、随時先着で申込みを受付ています。
10名未満のグループや個人のお客様でも展示室を利用することができます。ご利用希望日の6ヶ月前の月の1日午前10時(1月のみ4日午前10時)より、先着順で空室申込が可能です。
ぜひ、皆さまのご利用をお待ちしております。

横浜市民ギャラリーホームページから
展示室 空室申込をチェック!
https://ycag.yafjp.org/gallery_available/vacant_room/

【お問合せ】横浜市民ギャラリー TEL 045-315-2828

展示室2階A。開放的な吹き抜けの空間。撮影:上杉明

催し物ピックアップ 横浜美術館ほか

最寄駅 みなとみらい線「みなとみらい駅」 JR-横浜市営地下鉄「桜木町駅」

ヨコハマトリエンナーレ2020
「AFTERGLOW—光の破片をつかまえる」
2020年7月17日(金)～10月11日(日)10:00～18:00
休館日：木曜日(7/23、8/13、10/8を除く)
会期最終日[10/11(日)]は20:00まで開場
※10/2(金)、3(土)、8(木)、9(金)、10(土)は21:00まで開場
ヨコハマトリエンナーレ2020は、7月17日から開幕する3年に一度の現代アートの国際展です。今回はラクス・メディア・コレクティブをアーティスト・ティック・ディレクターに迎え、横浜美術館とプロット48を主会場に開催します。「AFTERGLOW—光の破片をつかまえる」と題し、目まぐるしく変化する世界の中で、大切な光を自ら発見してつかみ取る力と、他者を排除することなく共生のための道を探るすべについて、みなさんと一緒に考えます。
※チケット等、最新の状況につきましては、公式WEBサイトをご覧ください。
【お問合せ】横浜トリエンナーレ組織委員会事務局
〒220-0012 横浜西区みなとみらい3-4-1 横浜美術館内
TEL 045-663-7232 (平日10:00-18:00)
FAX 045-681-7606
https://www.yokohamatriennale.jp

催し物ピックアップ 横浜市民ギャラリーあざみ野

最寄駅 東急田園都市線「あざみ野駅」 横浜市民ギャラリーあざみ野

楽しい夏をみんなで一緒に！
子ども向けのイベント絶賛企画
毎年夏休みに開催している子どものための展覧会「あざみ野こどもぎやうりい」。今年は残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止となりました。その代わり、みなさんの安全・安心を第一に「ドキドキ・ワクワク」の体験ができるイベントをただいま絶賛企画中です。みること・つくることを通して、子どもたちのやってみたい気持ち、挑戦したい思いに寄り添い、応援したいと考えています。内容や詳細は決まり次第ホームページにて発表いたします。どうぞお楽しみに！お子さんやご家族はもちろん、大人のみなさんも、「ドキドキ・ワクワク」の夏を一緒に過ごしましょう！
【お問合せ】〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3 アートフォーラムあざみ野内
TEL 045-910-5656 FAX 045-910-5674 https://artazamino.jp/

スタッフから

学生インターンが活躍しました
横浜市民ギャラリーでは、当館の事業と魅力を広く知っていただくともに、学生の皆様への職業体験の場の提供を目的として、インターンシップを実施しています。2019年度は当館の収蔵品の管理補助業務や、子ども向けワークショップの企画・運営補助など、6名の学生インターンが参加・活躍しました。美術施設の現場を体験してみませんか。今年度の実施は未定ですが、募集時にはホームページでご案内します。
→ https://ycag.yafjp.org/

昨年度の様子：神奈川県立青少年センター「子どもフェスティバル」(2020年1月26日)で子どもたちが楽しめるワークショップを企画・実施しました

スタッフから

動画を配信しています
横浜市民ギャラリー1階エントランスに設置している大型モニターでは、市民ギャラリーの紹介、アトリエご利用案内、当館企画展予告映像、他施設の展覧会情報やイベント情報などの動画を終日配信しています。送迎車内モニターでも同様の動画を見ることができます。
展覧会をご覧いただいた後、エントランスでの休憩の際には是非ご覧ください。

横浜市民ギャラリー1階エントランス

送迎車

YOKOHAMA CIVIC ART GALLERY
横浜市民ギャラリー

横浜市民ギャラリーの総合情報誌
vol.68 2020年7月～2020年9月

アートヨコハマ
ART YOKOHAMA

68 2020.07-2020.09
Yokohama Civic Art Gallery
Art News Magazine

「横浜市こどもの美術展2019」自由参加ワークショップより Photo: Ken KATO

新型コロナウイルスの影響により、イベントの中止・延期等がございます。最新情報は、ホームページ等でご確認ください。

このパンフレットは、カーボンオフセットにより制作に伴うCO2排出をゼロにしています。
オフセットクレジットの提供者：アズビル株式会社

横浜市こどもの美術展 展覧会中止のお知らせ+みんなの思い出、メッセージを大募集!

【お知らせ】「横浜市こどもの美術展2020」は開催を中止します

今年も7月24日より「横浜市こどもの美術展2020」の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止します。毎年楽しみにしてくださっている方も多く、当館としても大変残念ですが、また来年、展覧会に関わるすべての方に安心して楽しんでいただけるようになりましたら開催する予定です。

なお、展覧会は中止となりますが、横浜市民ギャラリーでは今年も「横浜市こどもの美術展」を通じてみなさんつながることができるよう、下記のとおりホームページ上で企画をおこないます。お楽しみに!

教えてください! あなたの「横浜市こどもの美術展」-思い出・メッセージ大募集

半世紀以上の歴史がある「横浜市こどもの美術展」。長年にわたり様々なかたちで関わってくださったみなさんのおかげで、この展覧会の今があります。そこで今回、みなさんの「横浜市こどもの美術展」の思い出エピソードや、本展へのメッセージを大募集します! たくさんのご応募をお待ちしています。

募集対象: 1965~2019年の間、「横浜市こどもの美術展」に作品を出品した方、展示を見た方、ボランティアとして活動した方など、どなたでも。
募集内容: あなたの「横浜市こどもの美術展」の思い出や印象的だったこと、本展への思い出など。とくに親子2世代・3世代で出品した方や、本展が何かのきっかけになったなどのエピソードがあれば、ぜひお寄せください。



「横浜市こどもの美術展2019」 Photo: Ken KATO

「横浜市こどもの美術展」ってどんな展覧会?

■ 始まりは1965年。半世紀以上続く展覧会

1964年に桜木町の旧中区役所に開館した横浜市民ギャラリー。当時の飛鳥田一雄市長は「子どもを大切に市政」を打ち出し、初代館長で現代詩人の山田次も子どもの教育を大切に考えていました。開館翌年の1965年に「横浜市こどもの美術展」が始まり、これまでに52回開催、のべ18万点以上の子どもたちの作品が横浜市民ギャラリーに展示されてきました。



第2回「横浜市こどもの美術展」1966年(初代横浜市民ギャラリー外観)

第2回「横浜市こどもの美術展」1966年

■ 応募作品をすべて展示。賞を設けず、一人ひとりの作品を大切に

「横浜市こどもの美術展」は開始以来、応募作品をすべて展示することを原則とし、継承してきました。応募される横浜市在住・在学の小学生以下の子どもたちの絵画作品は、毎年数千点にのびります。それらを見無審査ですべて展示するスタイルは、1965年当時、コンテスト形式の児童画展が多いなかでもとても画期的なものでした。以来、本展では賞は設けず、一人ひとりの作品に向き合うことを大切にしています。一生懸命に描いた自分の作品ががざられた様子を見て、喜びを感じてもらふこと。このような作品発表の場を通して、子どもたちの自由な発想と豊かな表現を育み、すこやかな成長を当館は応援し続けています。

■ 広がる様々な取り組み

子どもたちの作品の公募・展示のほか、展覧会にあわせて様々な取り組みをおこなってきました。たくさんの「アートな楽しみ」が待っている展覧会を目指し、活動を展開しています。

主な取り組み	
1975~1982年 1985~1998年 1999~2001年 2002年~ 2015年~	「夏のこども創造のアトリエ」 身近な素材を使った創作教室 「こどもフェスティバル」 上映会やワークショップ、公演など 「ハマキッズ劇場」 子どもたちが舞台美術や音楽、衣装制作に参加し、舞台を上演 「自由参加ワークショップ」 子どもも大人もその場で参加できるワークショップ アーティストによる特別展示



「夏のこども創造のアトリエ」1980年



「こどもフェスティバル」変身・変装カーニバル 1995年



「ハマキッズ劇場2000」宇宙人ケチチ 2000年



いわいとしお「100かいだてのいえ」展 2019年 Photo: Ken KATO

■ ボランティア、インターンが活躍! 幅広い世代交流の場に
会場では、毎年多くのボランティアのみなさんが展覧会の運営をサポートしてくださっています。昨年度は学生インターンも加わり(本誌裏面にて紹介)、自由参加ワークショップの運営を担いました。子どもたちに工作の仕方を教えたり、会場の安全を見守ったりと、展覧会を支え、盛り上げてくれる大切な存在です。ボランティアには中高生も参加し、幅広い世代の方と交流する機会にもなっています。様々なつながりが生まれる場を大切に、今後も活動を広げていきます!



ボランティア活動の様子 2018年 Photo: Ken KATO

横浜市民ギャラリーゆかりの作家たち vol.18 西村建子

西村建子さんは1940年栃木県生まれ。以前は東京で会社員として働く傍ら趣味で写真を撮っていました。写真家の浜口タカシ氏(1931~2018)が主宰していた日本写真映像学院の存在を知り入学、写真を学びました。同校卒業後は浜口氏の事務所や学院の仕事を手伝いながら、写真に取り組みます。西村さんは写真を学ぶために来た横浜が自分を育ててくれたことから、横浜が大好きだと語り、何十年にもわたって、変貌する横浜の姿を撮り続けてきました。また、1980年代には当時来日調査が始まった中国残留孤児を撮影しました。浜口氏は来日する孤児たちを被写体としたため、西村さんは中国に赴いて彼らの生活や周囲の環境をカメラに収めたそうです。極寒の黒竜江省で撮影した当時の残留孤児の暮らしや、日本の旧軍人らが慰霊のため中国を再訪する旅に同行した際の写真など、一連の作品は写真集「哀愁の大地 -旧満洲-」(2015年、shashasha)にまとめられています。「横浜市民ギャラリーコレクション」展2020 うつつ、描かれた港と水辺」にあわせ、これらのお話を魅力的に語ってくださったインタビューを収録しました。ホームページからも視聴できますので、どうぞお楽しみください。



西村建子「哀愁の大地 -旧満洲-」(2015年、shashasha)より



西村建子「M21 夕風」1991年 カラープリント 39×54.7cm 横浜市民ギャラリー蔵

ハマキッズ・アートクラブ

自立心をはぐくむ 子どものためのアトリエ講座

幼児・児童が対象の造形を中心とするアトリエ講座「ハマキッズ・アートクラブ」を今年度も開催します。「ハマキッズ・アートクラブ」は、活動を通じて子どもたちに「自分で考える」「自分できめる」「自分でする」ことの楽しさや醍醐味を体験してもらい、子どもたちが大人になるために必要な自立心を得ることを目的としています。自分で最後までがんばるからすてきな作品ができる、そんな経験をしてもらえたらと考えています。



昨年度のハマキッズアートクラブの様子



講座参加者募集!

油絵に挑戦!

油絵の具ってどんなえのぐ? 初めてでも大丈夫。

モチーフをよく観察して、小さなキャンバスに油絵を描いてみよう。



11月28日(土)13:30~16:00

講 師	東麻奈美(アーティスト)
対象・定員	小学4~6年生 25名(抽選)
参加費	2,200円(材料費込)
会 場	4階アトリエ
受付期間	7月下旬~11月10日(火)

※締切後、当選の連絡を受けた方が講座に参加できます。



大人のための アトリエ講座

【2019年度報告】

2019年10月から2020年2月まで、人気講座「人体を描く」やしりぞ講座「親が知っておきたい」に加え、素描や日本画などバラエティに富んだ6講座を開催しました。音楽フェスティバル「横浜音楽祭」に合わせて開催した「音を奏でる人体を描く〜クロッキーとデッサン」では、ヴァイオリンを演奏する人をモデルに、しなやかな動きを描写しました。写真や映像に関するイベント「フォト・ヨコハマ」の期間中には、横浜の写真文化の振興に貢献され、当館にも作品が収蔵されている写真家の奥村泰宏・常盤とよ子夫妻の写真について理解を深めるレクチャーをおこないました。



音を奏でる人体を描く〜クロッキーとデッサン
2019年10/31/11/7/11/14/11/21 講師: 清野晃児 参加者: 17名



巨匠の素描に触れて学ぶ
2019年11/29/12/6/12/13/12/20 講師: 石田淳一 参加者: 11名



はじめての日本画 絹に描く 2019年12/7 講師: 武田裕子 参加者: 22名



親が知っておきたい〜紙あそび・お絵かきあそび〜 2020年1/29 講師: 横田佳子 参加者: 23名



人体を描く〜クロッキーとデッサン
2020年1/16/1/23/1/30/2/6 講師: 松本隆 参加者: 21名



レクチャー
写真家 奥村泰宏・常盤とよ子夫妻が写した戦後の横浜
2020年2/11 講師: 西村健 参加者: 47名

横浜市民ギャラリーコレクション展2020「うつつ、描かれた港と水辺」

残念ながら1日だけの開催でした。誌面でお楽しみください

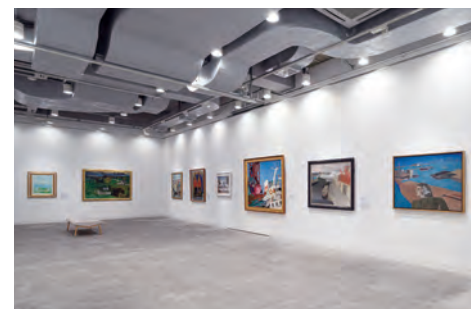
「横浜市民ギャラリーコレクション展」は、1964年の開館以来、企画展や国際展などの機に収蔵された約1,300点の所蔵作品を、毎年テーマを設けてご紹介する展覧会です。今回は港や海、水辺を描いた作品を特集しました。展覧会は残念ながら新型コロナウイルス感染拡大防止のため初日のみ開催し、以降中止となってしまいました。当館ホームページ内ブログで、会期中毎日展示内容などを発信しました。会場で配布予定だった小冊子もホームページでご覧いただけます。会場は4つのセクションと特別展示で構成し、55点を出品しました。写真を通じ戦後の横浜の様子と人びとの生きざまを見る「1.写真でみる戦後〜昭和のミナト 横浜」、様々な時代・姿の横浜港を描いた絵画を集めた「2.描かれた横浜港 1940~80年代」は1階に、また人びとのいる風景・また不在の風景を味わう「3.水辺の人びと」、多彩な技法でつくられた版画や、即興に近いかたちで描かれた漫画を展覧する「4.港と水辺 アラカルト〜版画と漫画の多様な表現」、そして横浜出身の日本画家が大正末年に細微な描写であらわした3作を紹介する「特別展示 牛田雞村の描いた横浜〜開港期の風景」は地下1階で展示しました。関連イベントもすべて中止となりましたが、今年も鑑賞サポーター(ボランティア)8名が活躍し、事前調査し作成した、作品に描きうつされたスポットを紹介するマップを会場内に掲出しました。コレクション展は来年も3月に開催予定です。楽しみにお待ちください。



会場の様子「1.写真でみる戦後〜昭和のミナト 横浜」



会場の様子「2.描かれた横浜港 1940~80年代」



会場の様子「3.水辺の人びと」



会場の様子「4.港と水辺 アラカルト〜版画と漫画の多様な表現」



会場の様子「特別展示 牛田雞村の描いた横浜〜開港期の風景」



会場の様子 鑑賞サポーターによる「作品に描かれたスポット紹介」マップ

【展覧会データ】
横浜市民ギャラリーコレクション展2020 うつつ、描かれた港と水辺
2020年2月28日(金)~3月15日(日)
※当初予定。コロナウイルス感染拡大防止のため、2/29以降中止10:00~16:00 ※当初予定は~18:00、2/28は短縮して実施
横浜市民ギャラリー 展示室1、B1
出品点数: 55点
展覧会入場者数: 168名(2/28のみ)
ボランティア人数: 8名

【関連イベント】(全て中止のため、当初予定)

●ワークショップ
「木版画摺り体験 摺りであらわす水辺の情景」
2月29日(土)14:00~16:00
講師: 関淳一(横浜美術館主席エデュケーター)
対象: 小学生以上

●学芸員によるギャラリートーク
3月7日(土)14:00~14:30

●鑑賞サポーターによるトーク
3月8日(日)、14日(土)14:00~14:30

主催: 横浜市民ギャラリー
(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/西田装美株式会社 共同事業体)

Photo: Ken KATO



横浜市民ギャラリー
〒220-0031横浜市西区宮崎町26-1
TEL 045-315-2828 FAX 045-315-3033 https://ycagyafjp.org/
10:00~18:00(入場は17:30まで)毎月第3月曜日・年末年始休館
f https://facebook.com/ycag1964 @ycag1964

●電車
JR・横浜市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩10分 ※紅葉橋交差点を過ぎて左斜め①の道を進みます。
●京急「日ノ出町駅」から徒歩8分 ※野毛坂交差点を戸部方面に右側歩道を進み②の坂道を上ります。
●バス
●市営バス103・292系統「戸部1丁目」から徒歩2~4分
(横浜駅方面から103系統に乗り、戸部1丁目下車すると徒歩2分)
●市営バス89系統「野毛坂」から徒歩4分
●市営バス8・26・58・101・105・106系統「紅葉坂」から徒歩7分

ご利用ください 送迎車サービス

桜木町駅 ⇄ 横浜市民ギャラリーを無料で巡回
おからだの自由な方、高齢者に配慮した無料送迎サービスです。車いすのまま、ご乗車可能です。通常は定員9名と限りはございますが、どなた様でもご利用いただけます。令和1年度は、年間3万5千人以上の方にご利用いただきました。※新型コロナウイルスの影響により定員減(3名+車いす1名)、運休等がございます。必ず運行状況を事前にご確認ください。尚、定員になりますので、ご了承ください。



JR桜木町駅東口タクシーのりば付近から出発 ※上記地図をご覧ください

【送迎車時刻表】 JR桜木町駅発					横浜市民ギャラリー発				
9	45▲				10	10▲	30▲	50▲	
10	00▲	20▲	40▲		11	10▲	30▲	50▲	
11	00▲	20▲	40▲		12	10▲	30▲	50	
12	00▲	20▲	40		13	10	30	50	
13	00	20	40		14	10	30	50	
14	00	20	40		15	10	30	50	
15	00	20	40		16	10	30●	50●	
16	00	20●	40●		17	10●	30●	45●	
17	00●	20●				00●			

※火曜日は展示作業日のため▲印の運行がありません。
※月曜と、第3月曜日前日の日曜日は撤去作業日のため▲印の運行がありません。
※横浜市民ギャラリー主催の展覧会開催中は、曜日を問わず全ての便を運行します。
※第3月曜日、年末年始は休館日のため運行がありません。また、展示のない日も全便運休です。
※交通事情、天候、施設状況等により運行が変更になる場合があります。

編集・発行: 横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/西田装美株式会社 共同事業体) 発行日: 2020年7月1日 デザイン: 太田博久